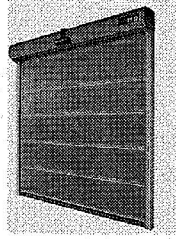


シート式
シャッター

10年ぶり全面改良

小松電機産業 気密性を向上



小松電機産業(松江市)

小松昭夫社長は、主力のシート式シャッターを十年ぶりに全面改良した。気密性を高めて工場などの空調効果を高めており、地球温暖化防止などに役立つ環境性能をアピ

ールして拡販する。海外でも本格的に販売を始める計画。初年度は国内で約六千台と従来製品に比べ二割増の販売を目指す。

新商品「門番・KVシリーズ」―写真―は、シートの巻き取り部分から空気が進入するのを防いで気密性を高めたほか、通過する物の高さに応じて開閉する「ECOモ

ド」を導入。出入り口への進入角度で開閉を判断する高性能センサーなども備えた。価格は、高さと幅がそれぞれ三層の標準仕様品で約百万円。

国内では食品や精密、電機などの業界向けに売り込む。海外では従来、試験的に販売していたが新商品投入を機に代理店を通じて中国、フィリピンなどアジア諸国で本格

的に販売する方針だ。シート式シャッターは工場の搬入・搬出場所など、外部と内部を隔てるため素早く上下して開閉する扉。作業効率を維持したまま外気やほこりの進入を防ぐことができ